

質疑回答要旨

質疑要旨	回答要旨
《病院の基本設計》	
宅地造成の際に行われる盛り土は、津波対策なのか地盤対策なのか。	津波対策ではなく、敷地の高低差をなだらかにして建築物を建てるために、土地の切り盛りを行います。
工事は一気に全て行うのか。段階に分けて行うのか。一気に行う場合、公園の機能が数年間なくなってしまうのではないかと懸念している。	病院は解体のため敷地より広めに工事ヤードを確保し、後半にはロータリーとなる部分についても工事をする予定です。公園は全てを閉鎖せずに部分ごとに着工したいと考えていますが、詳細は今後決定する施工業者と調整します。
今回の計画において、指定建築物の届け出などの手続きはあるのか。	本件は指定建築物の届出の対象ではありません。
資料の完成予想図（資料Ⅰ-9）のうち、「温かみのある内部空間」と書かれた下2つのイメージ図はどの場所か。	左側のイメージ図が1階の受付付近、右側のイメージ図が2階の情報ラウンジ・待ち合いスペースのイメージです。
南海トラフ地震の津波による浸水対策はどうなっているか。	ハザードマップ上、津波の心配はありません。しかし、およそ1000年以上に1回の頻度で発生すると想定される豪雨により、北西にある妙法寺川の洪水が発生した場合には50cm未満の浸水区域に敷地の一部が入っていますが、建物の周りに防潮板を設置し浸水を防ぐ計画としています。
建物の9階の上にある「PH1F」はヘリポートなのか。	「PH」とは塔屋のことです。屋上には、ヘリポート（離着陸場）ではなく災害時等にヘリコプターが上空から救出活動等を行うことができる「ホバリングスペース（緊急離着陸場）」です。
○運用	
平日の夜間や休日の診療はどのようになるのか。	一般の外来は行いませんが、救急診療については現在と同様に24時間体制で行います。
中央市民病院には感染症対策の病棟があると思うが、新病院では第1種等どの程度の患者を受け入れられるのか。 また、感染症対策のために陰圧室は設けるのか。	新病院は感染症指定医療機関ではありませんが、第2種相当の患者さんに対応できる設備を備える予定です。平常時は医療者の訓練に使う「トレーニングラボ」を、感染症が拡大した際には個室や病床として使える臨時の感染症病棟に切り替えられるようにします。 また、感染拡大時に安全に受け入れられるよう、陰圧室も設置します。 ※第2種指定医療機関とは、結核やポリオ等の2類感染症の治療等が可能な設備を備えた医療機関のこと。

○廃棄物の収集	
医療廃棄物の収集車両は、どのようなルートを通行するのか。	廃棄物集積所は建物内の敷地西側（市営住宅との間）の道路に面した部分に配置しますので、敷地西側の道路を通してそこから敷地内に進入し、収集作業後も西側道路に出て北側道路へ抜けていくルートを考えています。
廃棄物搬送車が西側の道路に停車すると通行の妨げになるのではないか。	廃棄物車両は病院敷地内に入って収集作業を行う設定のため、道路上に停車することはありません。
ごみ集積所が住宅の近くにあると、臭いや小動物の発生が心配だが対策は。	集積所は建物の中にあり通常は閉まっています。また医療廃棄物は専門業者が密閉容器で回収します。 廃棄物は建物内に集約するため、周囲への臭いや小動物の心配はないと考えています。
○核医学室	
赤字の病院が多い中で、なぜ今、放射線治療に力を入れる必要があるのか。また、重いタンクを駐車場の上階に置いても強度は問題ないか。	市街地西部で対応できていないがん治療機能を補い、新病院のコンセプトである地域包括システムの推進、地域で完結する医療を目指すため、有識者会議の提言を受けて導入を決定しました。 構造や配管は適切に設計し強度を確保します。
放射線治療施設の下が駐車場になっているが、遮蔽対策や排水設備はどうなっているのか。	放射線が漏れないようコンクリートを厚くし、基準に沿って設計しています。排水については、地下1階で処理・希釈してから流す施設を設ける計画としています。
核医学の排水経路はどのようになっているか。	詳細な排水経路については、今後の設計の中で詰めていくことになります。
○その他	
「急性期医療」と「トリアージ」という用語の意味を具体的に教えてほしい。	「急性期医療」は、HCU（高度治療室）等での治療、手術を行う段階の医療のことです。 「トリアージ」は、災害時などに医師や看護師が症状を見て、治療の優先順位を振り分けることを指します。
《公園及び新病院の外構計画について》	
○ロータリーの安全対策	
敷地の北東に設けるロータリーから、車が誤って公園の中に進入することはないか。南側に木を植えるなどの対策はあるか。	車が誤ってロータリー外に進入しないよう縁石やボラード（車止め）を設けるなど安全な設計を検討します。
ロータリーと鉄人広場が近いため、広場に誤って車が進入しないよう安全対策として縁石や頑丈なフェンス等の設置を検討いただきたい。	

○外構の通路	
東急プラザへ行く際、子供の遊び場（広場）を通ることになるのか。通路は設けられるのか。また、その通路は、遊び場と区別され自転車等も通れる舗装がされるのか。	病院の南側に、駒ヶ林中学校側から東へ通り抜け可能な通路を確保する予定です。舗装は種類を変えるなどして、明確に区別することを考えています。
防災訓練で消防車が公園のグラウンドに入りやすいよう、進入口の改良などは行われるか。	グラウンドへの車の進入口としては、現状の南側入り口に加え、新たに北側2箇所にも車両進入口を設け、計3箇所の入り口を確保する計画としています。
○公園でのイベント	
若松公園の再整備後も、鉄人広場で「長田フェスティバル」などのイベントは開催できるのか。	完成後も引き続き開催できるよう考えています。ただし、公園の面積が以前より少し小さくなるため、開催方法については関係部局と相談していきます。 また工事中についても、公園を全面閉鎖することがないように考える予定ですが、イベントに利用できる範囲等については、今後、工事の工程を検討する中で調整していきます。
《都市計画の変更》	
都市計画素案で、鉄道用地（資料Ⅳ－４用途地域図①）をなぜ第１種住居地域から商業地域に変更するのか。駅の拡張や急行・快速を停車させるための計画があるのか。	病院敷地外ではありますが、鉄道用地部分がスポット的に第１種住居地域で残ることになります。スポット用途は、例えばニュータウンのセンター地区など、面的整備事業の計画の中で将来の土地利用を踏まえて指定するものです。今回変更する鉄道用地は将来的にも土地利用の可能性はなく、この部分だけを第１種住居地域として残すことは、用途地域指定の考え方にそぐわないことから周囲と合わせて変更します。 具体的な駅の拡張計画等があるために変更するわけではありません。
都市計画変更の素案に対し、住民が意見を提出できるタイミングはいつか。	６月から７月の間で地区計画の変更について、２週間「素案縦覧」し、意見募集期間は素案縦覧期間にプラス１週間した３週間行う予定です。９月から１０月の間に地区計画を含む都市計画の変更について、２週間「案縦覧」行い、意見募集期間も同じ期間に行う予定です。
《周辺への環境配慮》	
１日の外来患者数と車の台数はどれくらいを想定しているのか。周辺道路の渋滞が心配だ。	外来患者は１日約１０００人を想定し、地下駐車場は現在の７０台から１００台に増やします。

	また、地下駐車場の入り口ゲートまでに、スロープを設けており、満車時には入庫待ちの車が病院敷地内でも待機できるよう計画しています。それでも周辺に混雑が発生する場合は、必要に応じて交通整理の職員の配置等も検討します。
周辺道路に送迎車の停車が多くなると思う。また自転車についても駅前では勝手な駐輪が多いが、新病院ではそのあたりどう考えているのか。	自家用車による送迎は公園内に設けるロータリーでの乗降を想定しています。駐輪場については、病院の北側と西側に約 70 台分を設置する計画です。
病院玄関前での待ち合わせ車両が多いと周囲に溢れる可能性があるため、今後対策を検討してほしい。	ご意見として承り、今後の検討課題とさせていただきます。
病院西側の道路について、普段駐停車もあり、病院が来ることで集合住宅の車の出入りへの影響を懸念しているが、道幅を広げる計画はあるのか。	道幅を広げる計画はありません。病院東側にロータリーを設置しますので、送迎車等はそちらを利用してもらうことで混雑回避を図っていきたいと考えています。
北側道路の渋滞対策として、建物のセットバックやロータリーの拡充できないか検討してほしい。	道路の拡幅は行いませんが、病院東側にロータリーを設置しますので、北側道路で渋滞が発生しないよう運用していきたいと考えています。
救急車のサイレンによる早朝・夜間の騒音対策はどうするか。	法律でサイレンの使用が義務付けられているためご理解をいただきたいですが、騒音が緩和するサイレンもあると聞いていますので、運用については今後消防局と調整を図っていきます。
救急車のサイレンによる周辺への騒音レベルの影響はどの程度か。	
病院敷地内は禁煙だが、西側住宅内のベンチにタバコを吸いに来る患者や関係者がいると迷惑になる。移転後の対策はあるか。	病院より患者や利用者への注意喚起を徹底いたします。もしそのような状況を見かけたら、病院へご連絡ください。
感染症病床からの排気による熱気や菌が、近隣住宅に影響を及ぼすことはないか。	排気は屋上まで立ち上げ、高性能フィルターで浄化してから放出するため、周辺環境への影響はないよう計画します。
《病院のアクセス》	
○路線バス	
病院が移転すると御蔵方面からの路線バスを利用することになるが、本数が少ない。増便は考えているか。	新病院は新長田駅に近く利便性が高いため、基本的には公共交通機関の利用を想定しています。特定の地域からの増発について現時点でお答えはできません。
現在この地区(若松公園付近)から西市民病院に通っているが、バスが減便され行きづらくなった。移転までの間の利便性にも配慮してほしい。	この説明会で路線の拡充等の要望があったことを交通局にお伝えします。

○駅からのアクセス	
新病院のコンセプトでは「まちづくりに貢献する病院」や「全ての利用者にやさしい病院」となっているが、地下や2階部分のデッキで駅とは繋がらないのか。 新長田駅周辺の利便性向上のためにも東急プラザから病院につなげるデッキを設置すべきではないか。	地下は地下鉄との段差がありバリアフリー動線としての整備は困難と考えており、2階デッキについても東急プラザの営業時間と病院の開始時間のずれがあるという課題があります。 病院の正面玄関は1階に設置するため、駅からは1階を経由してアクセスいただく計画として考えています。 駅から病院のアクセスについては、今後、分かりやすく安全なバリアフリー動線を検討します。
中央市民病院においても駅からの動線が確保されている。東急プラザが閉まっている時間でも利用できる外部デッキがあると便利になるが、設置できないのか。	1階が病院の正面玄関となりますので、駅から病院玄関へのアクセスについては引き続き検討します。